

ニュースリリース

ジェットスター・ジャパン 成田発着運航便搭乗者数 累積 3,000 万人を突破

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)が運航する成田発着運航便の累積搭乗者数が 10 月 11 日(火)に 3,000 万人を突破しました。2019 年 2 月に同 2,000 万人を超えてから約 3 年 8 ヶ月での達成です。



首都圏初の本邦 LCC であるジェットスター・ジャパンは、2012 年 7 月、成田国際空港を主要拠点として 3 機のエアバス A320 型機で国内 2 路線の運航を開始しました。現在、成田を発着する国内線の路線数および運航便数は航空会社として最多で、成田発着 13 路線、1 日あたり最大 43 便(片道)を運航しています。

主要拠点である成田空港では路線網を拡充し、お客様の旅行先の選択肢を増やしてきました。就航時は、第 2 ターミナル到着ロビーの一角に仮設のチェックインカウンターを設けてのご案内でスタート。日本市場における LCC の普及と定着を図るべく徹底した合理化と機動力で徐々に体制を整えていき、2015 年 4 月には新たに LCC ターミナルとしてオープンした第 3 ターミナルビルに移転。国際線のイメージが強かった成田空港で国内線の充実に貢献し、現在も首都圏と国内就航地を 最も多く結ぶ LCC として日々運航しています。

2022年4月には同ターミナルの拡張に合わせてチェックインの「セルフサービス化」を一段と前進させ、コンタクトレスで円滑なチェックイン手続きを実現しました。LCCとして初めて導入したオンラインチェックインの利用度は徐々に上がり、現在ではお客様の約6割がオンラインチェックインを利用しています。

また、7月には、最新鋭のエアバスA321LRの初号機の運航を開始し、お客様の快適性と利便性を向上したかほか、燃費を大幅に改善しました。その快適性と利便性から、すでにご搭乗いただいたお客様からは好評を得ています。初号機は、成田＝新千歳・福岡線で運航されており、今後も同型機を他の路線にも導入し、成田を起点としてお客様により快適なサービスを提供します。

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」のビジョンの下、ジェットスターは今後もより多くのお客様に、安全かつ安心してご利用いただける気軽な空の旅を提供してまいります。

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線、2015年2月からは国際線の運航を開始しました。現在、国内15都市・17路線を運航。就航から累積4,000万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。

<https://www.jetstar.com/jp/ja/home>